

甲府市宝飾産業振興戦略プラン



令和7年3月

甲府市産業部

はじめに

本市の宝飾産業は、御嶽昇仙峡周辺で水晶が多く産出されたことに始まり、江戸時代中期から受け継がれてきた水晶研磨加工の高い技術を基盤として発展してきました。現在では、企画・デザインから原料調達、宝石研磨・彫刻、貴金属製品加工、さらには流通に至るまで、ジュエリーを完成させる全工程が揃う、世界的にも珍しいジュエリーの集積産地となっています。このような歴史と産業の発展を背景に、甲府市は「宝石のまち」として栄えてきました。

本市はこれまで、平成31年3月に策定した「甲府市産業ビジョン」において、「稼ぐ力の向上」を産業全体の基本目標として掲げ、雇用を維持しながら地域外からの収益を確保し、それを地域内で循環させる産業構造を目指してきました。また、同ビジョンでは、本市産業の強みを活かし、新たな魅力を生み出すために、「特色ある地域産業の強化とブランディング」、「拠点機能を活かした産業振興」、「人的・知的資本の育成と活用」の3つの基本方針に基づき、地場産業の基盤強化や市場拡大などに取り組み、地域産業の成長を図ってきたところです。

また、令和4年度には、ライフスタイルの節目に合わせて「ベビージュエリー」、「プロポーズジュエリー」、「ヘリテージジュエリー」を贈るという新たなジュエリー文化の普及を目指し、「宝石のまち甲府」の中長期的なブランディングおよび魅力発信を図るため、「甲府ジュエリーラブプロジェクト」を提案するとともに、国内最大級のファッションショーである「東京ガールズコレクション」におけるPR活動や、令和6年度に県内高校生を対象としたジュエリーデザインコンテスト「宝石のまち甲府ジュエリー甲子園2024」の開催を通じ、若年層を含む幅広い世代への認知拡大にも努め、宝飾産業の振興を図っています。

一方、令和5年度には、「甲府市産業ビジョン」の10年間の計画期間の中間年を迎えるにあたり、労働力や担い手の減少のみならず、長期にわたる新型コロナウイルス感染症の拡大、DXや脱炭素化への対応など、社会経済環境大きく変化している状況を踏まえ、本市産業の現状と課題を再度把握し、見える化することを目的として、「甲府市新たな産業施策の構築に向けた調査・分析」を実施しました。特に、本市の主要な地場産業である宝飾産業については、各事業者の属性に着目した詳細な分析を行ったところです。

分析結果を受け、宝飾産業のさらなる発展を目指すため、山梨県をはじめ、協同組合山梨県ジュエリー協会の組合員および甲府商工会議所水晶宝飾部会の会員から選出されたメンバーとともに、本市の宝飾産業の特性と課題を整理し、今後の宝飾産業振興策について検討を重ね、本市が宝飾業界の事業者とともに取り組むべき方向性を定め、本プランを策定いたしました。

目次

はじめに	1
第1章 総論	
Ⅰ 位置づけ	3
Ⅱ 計画期間	3
Ⅲ 推進体制	3
第2章 宝飾産業を取り巻く現状と課題	
Ⅰ 「甲府市新たな産業施策の構築に向けた調査・分析報告書(令和5年度)」	4
Ⅰ-1 「甲府市産業ビジョン」公表後の経済・社会構造の変化	4
Ⅰ-2 甲府市の産業構造の特徴	5
(1) 基幹・牽引産業および観光産業の現状と課題	5
(2) 宝飾産業の現状と課題	6
(3) 今後の甲府市の産業施策立案の観点	7
Ⅱ 事業者アンケートの実施と結果	8
Ⅱ-1 事業者アンケートの実施	8
Ⅱ-2 事業者アンケートの集計結果	9
第3章 プランの方向性	
Ⅰ 課題とこれまでの取り組み	18
Ⅱ これからの取り組みイメージ(案)	24
第4章 今後の施策	
Ⅰ プロモーション・宝飾文化づくり	25
Ⅱ 基盤づくり(人材、雇用など)	27
Ⅲ 事業推進(販路開拓、利益拡大)	29
◆参考資料◆	
Ⅰ 甲府市産業ビジョン～産業振興施策の基本方針～	32
Ⅱ 甲府市宝飾産業振興戦略検討チームミーティング・メンバー	33
Ⅲ 事業者アンケート	35

第1章 総論

I 位置づけ

本プランは、「甲府市産業ビジョン」(2019年度～2028年度の10年間)および、その中間年にあたる令和5年度に実施した「甲府市新たな産業施策の構築に向けた調査・分析等業務」の報告書を踏まえ、山梨県をはじめ、協同組合山梨県ジュエリー協会や甲府商工会議所水晶宝飾部会から選出されたメンバーとともに、本市宝飾産業の特性と課題を整理し、今後の振興策について議論・検討を重ね作成しました。

本プランは、宝飾産業の発展と振興に向けた効果的な施策として、市が宝飾産業の事業者とともに取り組むべき方向性を示すものです。

II 計画期間

本プランの計画期間は、「甲府市産業ビジョン」(2019年度から2028年度)の最終年度までの、2028年度(令和10年度)までとします。なお、本プランは、社会状況や環境変化への対応が求められることから、必要に応じて修正を行います。

III 推進体制

本プランは、行政と市内の宝飾産業に関わる民間事業者がそれぞれの役割を果たしながら、事業実施に向けた取り組みを推進します。

第2章 宝飾産業を取り巻く現状と課題

I 「甲府市新たな産業施策の構築に向けた調査・分析報告書(令和5年度)」

調査・分析の趣旨

平成31年3月に策定された「甲府市産業ビジョン」を実現するために、具体的な産業振興施策を検討することを目的として、市の産業構造が示す特徴を理解し、経済成長の糸口を見つけるための基礎調査です。

調査の方法

●デスクトップ調査

国や山梨県の統計情報、シンクタンク等が所有する調査情報を取得し、現状や将来性を定量かつ客観的に分析

●ヒアリング調査

業界や団体に対する「マクロ視点」のヒアリングや宝飾関連企業や機械電子関連企業に対する「ミクロ視点」のヒアリングにより定性情報を把握

調査実施事業者

有限責任あずさ監査法人

I-1 「甲府市産業ビジョン」公表後の経済・社会構造の変化

新型コロナによる産業への影響

新型コロナウイルス感染症は企業活動に影響を与え、関連する倒産は、全国で約6,800件(2023年9月29日時点)、特に飲食店、建設・工事業の倒産が多かった。

人出不足倒産

人手不足倒産は、人口減少による求人難、人件費高騰を背景に急増。2023年の倒産件数は260件となり、統計開始以来最多となった。

円安・インフレ

2020年後半から急速な物価高が、2021年後半から急速な円安が進み、企業の原材料・燃料の調達等に影響を与えた。

地方移住ニーズの高まり

コロナ禍におけるリモートワークの浸透や、生活様式の変化により、都市部の住民や企業の地方移住への関心が高まった。

I-2 甲府市の産業構造の特徴

(1) 基幹・牽引産業および観光産業の現状と課題

【現状】

- ・甲府都市圏の付加価値額のおよそ3分の1を占める製造業は、圏域の基幹産業である。
- ・甲府市は、第3次産業のシェアが高い「県庁所在地型」の産業構造となっている。その中で、甲府市の付加価値額に占める割合は、卸売業・小売業が18%、医療・福祉が17.5%、製造業が12%、建設業が9%となっている。
- ・卸売業・小売業、医療・福祉は、地域の人口や経済活動全体の変動に依存する傾向があり人口減少が進む中では、甲府市の牽引産業としては期待しづらい。
- ・マクロ視点では、半導体製造装置関連事業を含む機械電子産業は、今後も、牽引産業として、底堅い需要が期待でき、周辺産業への波及も期待される。
- ・半導体製造装置関連分野は、多面的な好循環を生み出しうるデジタル関連産業に貢献する分野であり、国の成長戦略に基づき、施策予算面の支援も期待される。
- ・甲府市の観光客数は、類似都市（東京から近似直線距離にある県庁所在地の中核市）と比較すると少ないが、リニア開通等のポジティブな要因を追い風に発展の余地がある。

※基幹産業：地域の経済の発展の基礎をなす重要産業

※牽引産業：地域経済への影響力が大きく、成長性が見込まれるとともに、地域経済のバリューチェーンの中心的な担い手、および担い手候補となる産業

【課題】

- ・「甲府経済圏域」の発展を見据え、国家戦略特区・地方創生交付金といった、国の政策パッケージを活用し、DX・SX等のスタートアップ企業誘致、R&D機能誘致等の成果に繋げていきたい。
- ・牽引産業は、マクロ視点で底堅い需要が期待されるが、企業誘致の在り方を検討していく必要性が認識されている。
- ・リニア開通を見据え、観光域内循環システムの構築に向けた政策の立案や、観光コンテンツとしてのジュエリーツーリズム開発を実行していきたい。

※DX: Digital Transformation の略。企業が AI、ビッグデータなどのデジタル技術を用いて、ビジネスモデルや組織を変革すること

※SX: Sustainability Transformation の略。企業と社会の「持続可能性」を重視した経営へ変革すること（企業⇒稼ぐ力、社会⇒気候変動、感染症など）

※R&D: Research & Development の略。研究開発のこと

(2) 宝飾産業の現状と課題

【現状】

- ・本市の宝飾産業は、国内市場においてトップレベルのシェアを誇る特徴的な産業であるものの、他の産業と比べると、製造品出荷額等の金額ベースの規模は小さい。
- ・山梨県の宝飾品製造事業者数は、日本全体の29%を占め、全国で最も多い。そのうち甲府市の事業者が、全体の9割以上を占めると言われる。
- ・宝飾産業の国内市場は、人口減少や婚姻件数の減少に伴い需要の縮小が懸念される中、おおむね1兆円規模で推移している。一方、海外市場は底堅い成長基調にある。
- ・宝飾産業では、サプライチェーンの変化が見られる。(例えば、製造業者と小売業者の相互進出、卸売業者を介さない取引の増加、SNSを活用したECやオンライン展示会の活用など)

※サプライチェーン:商品の企画から、原材料の部品などの調達、生産、在庫管理、配送、販売、消費までのプロセス全体を指し、商品が最終消費者に届くまでの「供給の連鎖」

※EC:Electronic Commerceの略。電子商取引のこと。ネット通販、ネットショップなど

【課題】

- ・人口減少を背景に国内需要は減少傾向にあるため、海外の需要を取り込んでいく必要があるが、そのためには、ブランドの確立が必要である。特にアジア諸国では、人口増加や経済発展が進み、宝飾品の主要な顧客層となる中間層から富裕層の増加が見込まれる。
- ・調達原価の上昇、工数単価の抑制傾向、販売単価への転嫁の難しさといった環境の中、事業者が自社のブランド力を強化するためには、設備投資や人的投資が必要である。
- ・各社ともOEMの受託により在庫リスクを抑え、キャッシュフローを確保している状況であるため、投資余力が乏しく、自社ブランドの展開ができず利益率向上にはつながっていない。
- ・ブランド確立に向けては、宝飾産業全体で官民が連携した取り組みが必要である。
- ・富士山観光等を目的に山梨県内に滞在している観光客に対し、ジュエリーを観光コンテンツとして活用し、甲府に滞在し周遊する取り組みが必要である。集客力の高いジュエリー展等を観光コンテンツの一つとして発展させることで、産業間のシナジー効果が期待される。

※OEM(Original Equipment Manufacturing):他社ブランドの製品を製造すること。

(3) 今後の甲府市の産業施策立案の観点

・持続可能な経済構造の実現

経済活動を活発にし、市民一人当たり GDP の向上を図るには、域外（市外）からより多くの外貨を獲得し、所得の域内循環量を増やしていく必要がある。

・第3次産業のシェアが高い「県庁所在地型」の産業構造

地域の政治・経済の中核的機能をはたしている県庁所在地には、卸売業・小売業、医療・福祉、金融業、保険業などが集中し、周辺自治体の需要を取り込んでいる。

・「外貨」獲得に資する産業の代表格は製造業と観光業

甲府市の製造業のうち従業者数が多いのは、「食料品製造業」と、いわゆる半導体関連産業と言われる「機械電子産業」である。このうち付加価値額が高い「機械電子産業」が甲府市の経済を牽引している産業のひとつとなっている。

・「機械電子産業」は今後も底堅い需要が期待

全世界の半導体需要は 2050 年までに約8倍となるとの推計もあり、DX や GX を進めるには、先端性の高い半導体が必要とされる。「機械電子産業」に力を入れることは、イノベーションの加速や所得向上といった多面的な好循環を生み出す。

・品質・技術力の向上により強みとなる宝飾産業の集積性

製造事業者数、製造品出荷額、付加価値額と国内トップシェアを誇る甲府市の宝飾産業。国内1兆円市場における新たな需要の取り込みは、さらなる産業の成長を促進し域内の所得循環を活発にする。

・観光やシティプロモーションと親和性が高いジュエリー

製造工程の全てが集積している甲府市の宝飾産業の生産活動を活発にすることで、観光コンテンツにも波及。「甲府ジュエリー」ブランド確立は、シティプロモーションにも繋がるなど、相乗効果が期待できる甲府市の強みの産業である。

・観光入込客数と消費額の掛け算が観光産業成長のカギ

リニア開通により、交通結節点として利便性向上が期待されるなか、来訪者の消費機会・コンテンツの整備が観光産業の成長トリガーとなる。

・リニア開通に伴う効果を取り込む

新幹線駅の所在都市の成功事例を参考に、リニア開通前に経済効果の最大化を図る戦略策定と開通に向けた施策・投資等の実行が必要である。

※GDP:国内総生産のこと。一定期間に国内で生産された財(モノ)・サービスの付加価値の合計額

※GX:Green Transformation の略。温室効果ガスを発生させる化石燃料から太陽光発電、風力発電などのクリーンエネルギー中心へと転換し、経済社会システム全体を変革すること

第2章 宝飾産業を取り巻く現状と課題

Ⅱ 事業者アンケートの実施と結果

Ⅱ-1 事業者アンケートの実施

今後の宝飾産業の振興を目的として、短・中・長期的に取り組むべき方向性やプランを作成するにあたって、甲府市の宝飾産業の特性と課題を整理しました。

(1) アンケート対象者

協同組合山梨県ジュエリー協会、山梨県水晶美術彫刻協同組合、甲府商工会議所水晶宝飾部会に属している会員等

(2) アンケート方法

アンケート対象者に、メール、郵送、FAX で依頼
甲府市ホームページ内のアンケートフォームか FAX で回答

(3) アンケート期間

令和6年7月25日(木) ~ 8月19日(月)

(4) アンケート内容

本誌35~39 ページ

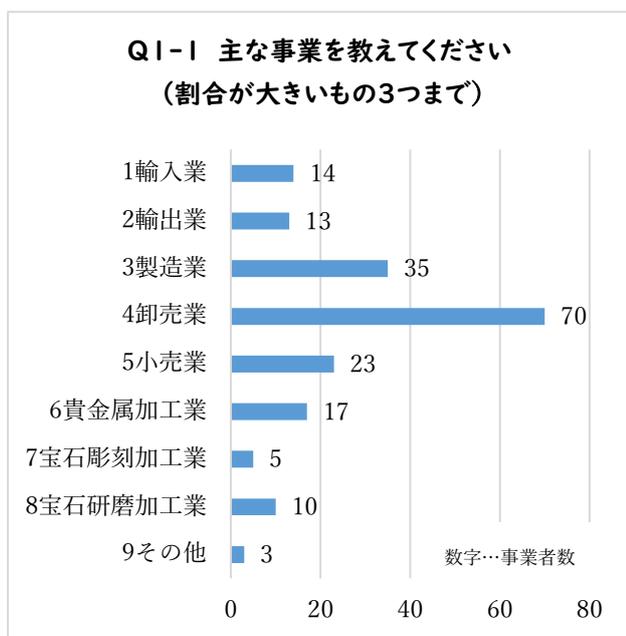
II-2 事業者アンケートの集計結果

● アンケート集計結果

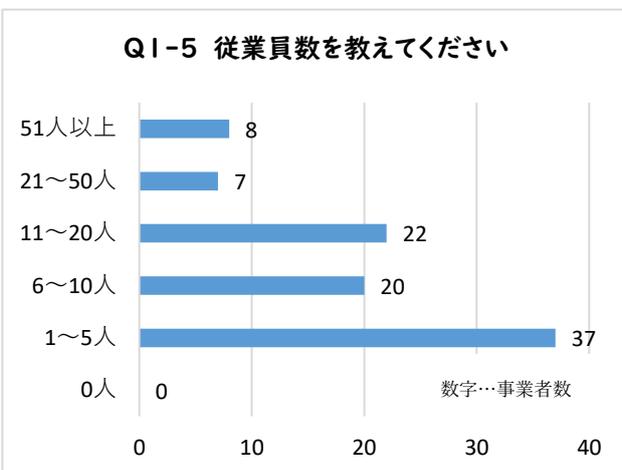
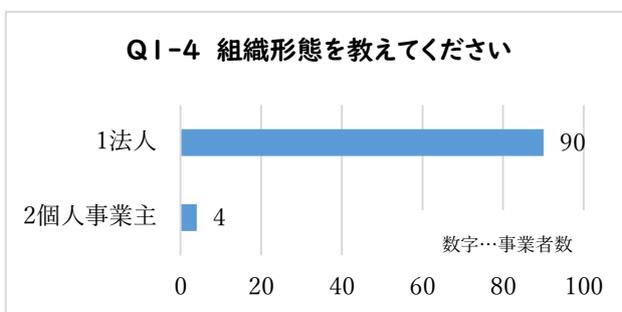
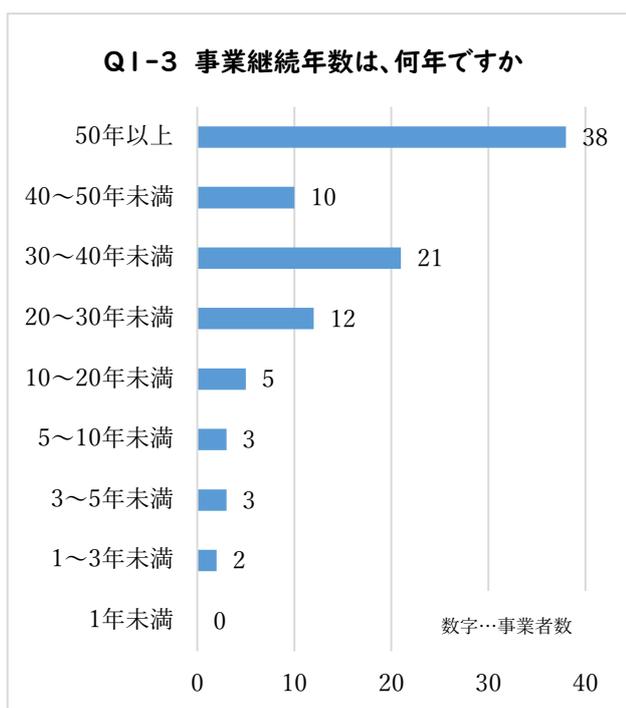
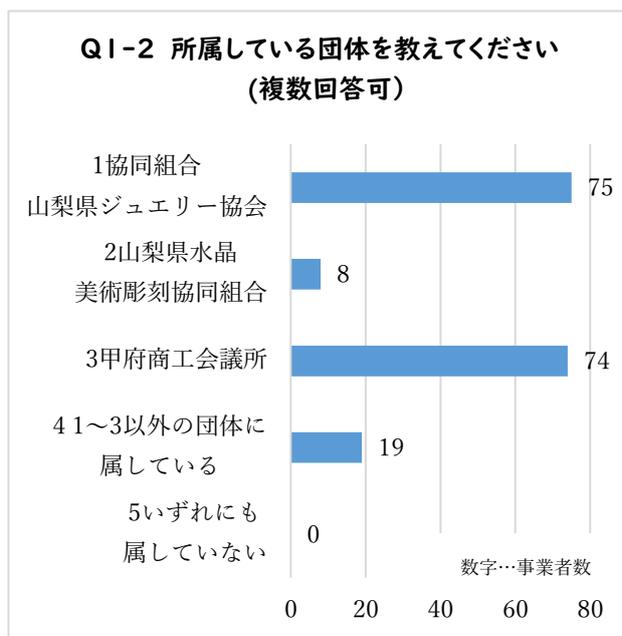
・インターネット回答…… 77名

・FAX 回答…………… 17名

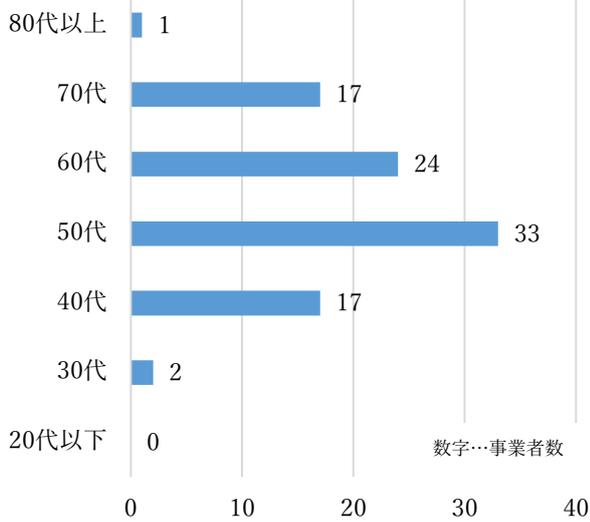
合計 94名



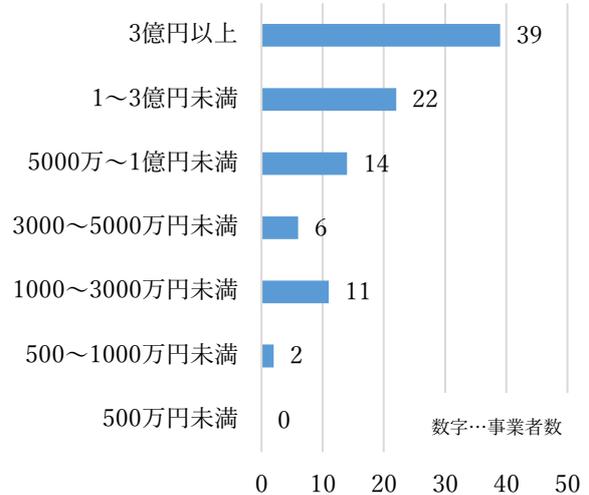
Q1-1 9 その他
企画、デザイン、貴石彫刻置物の製作
加工機材の販売



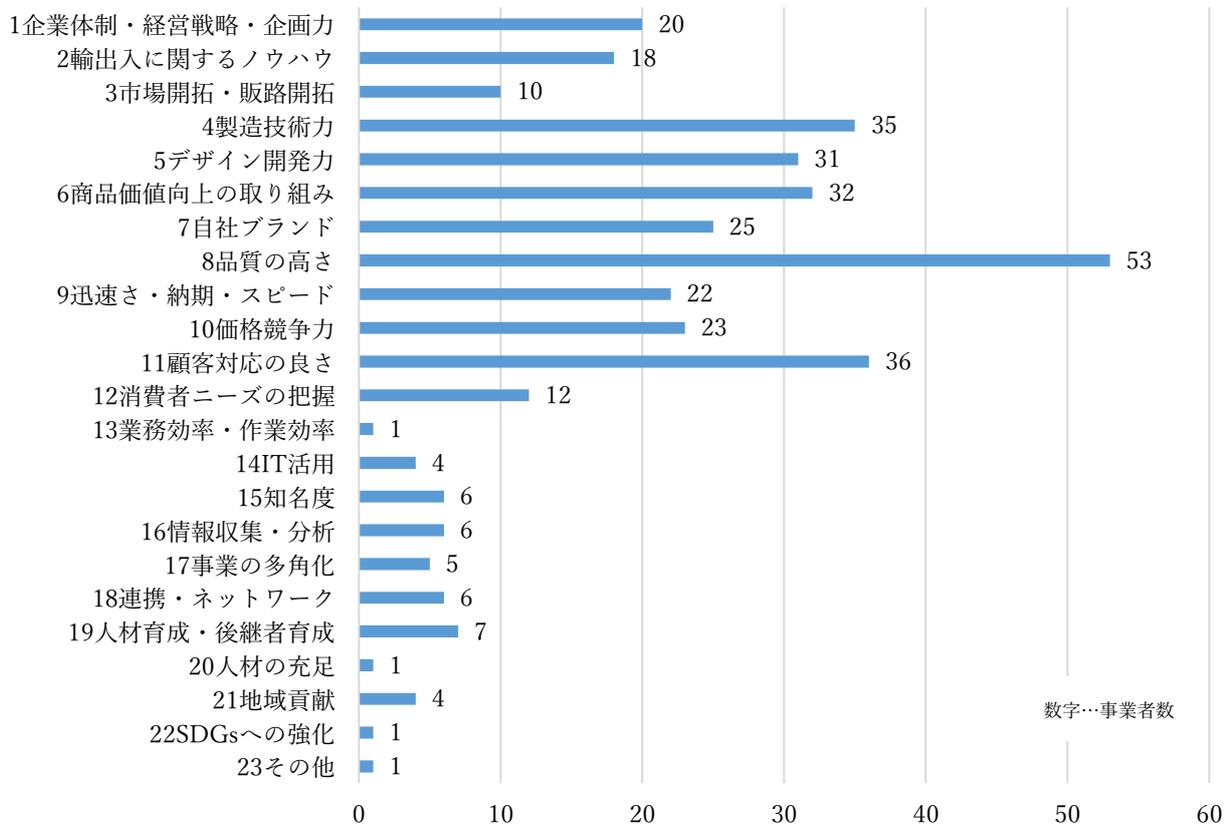
Q1-6 経営者の年齢を教えてください



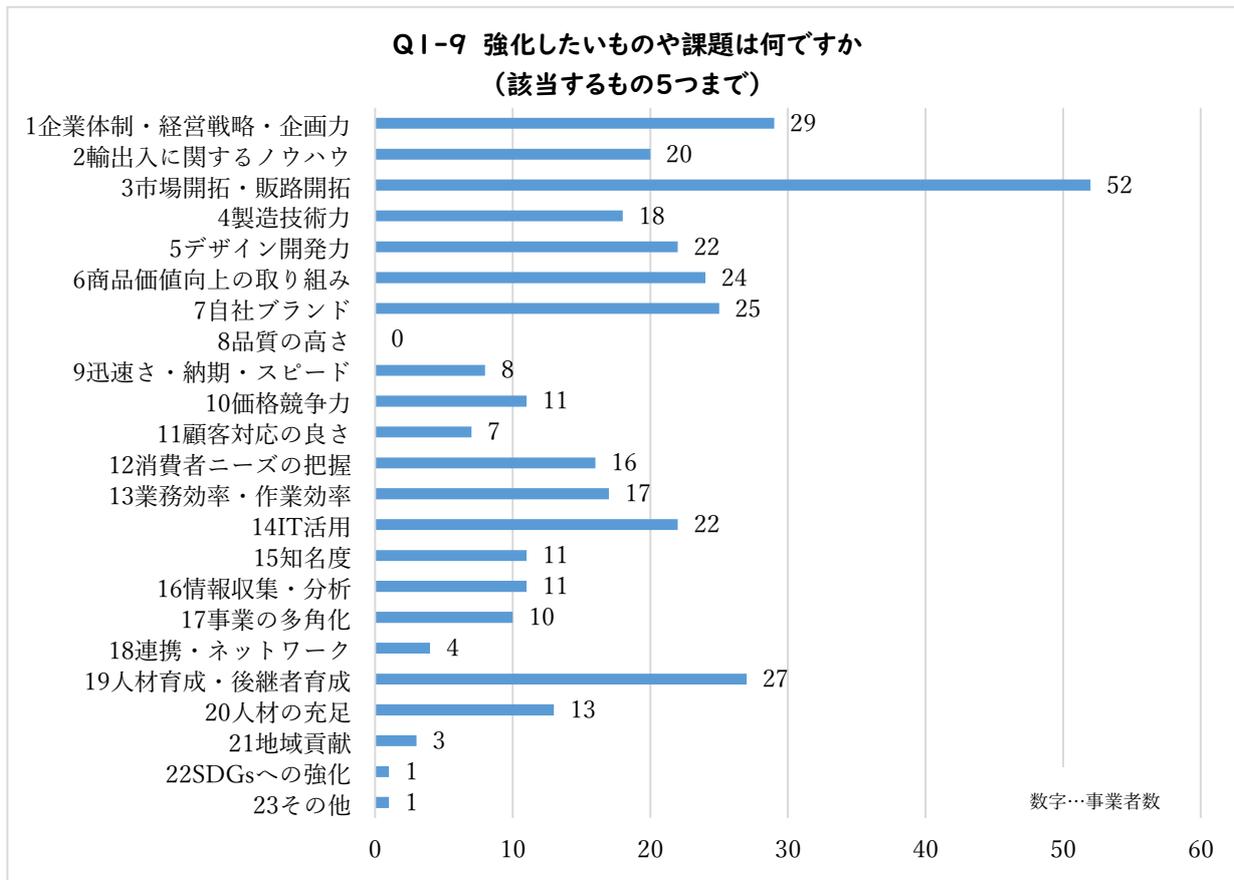
Q1-7 直前決算期の売上高について教えてください



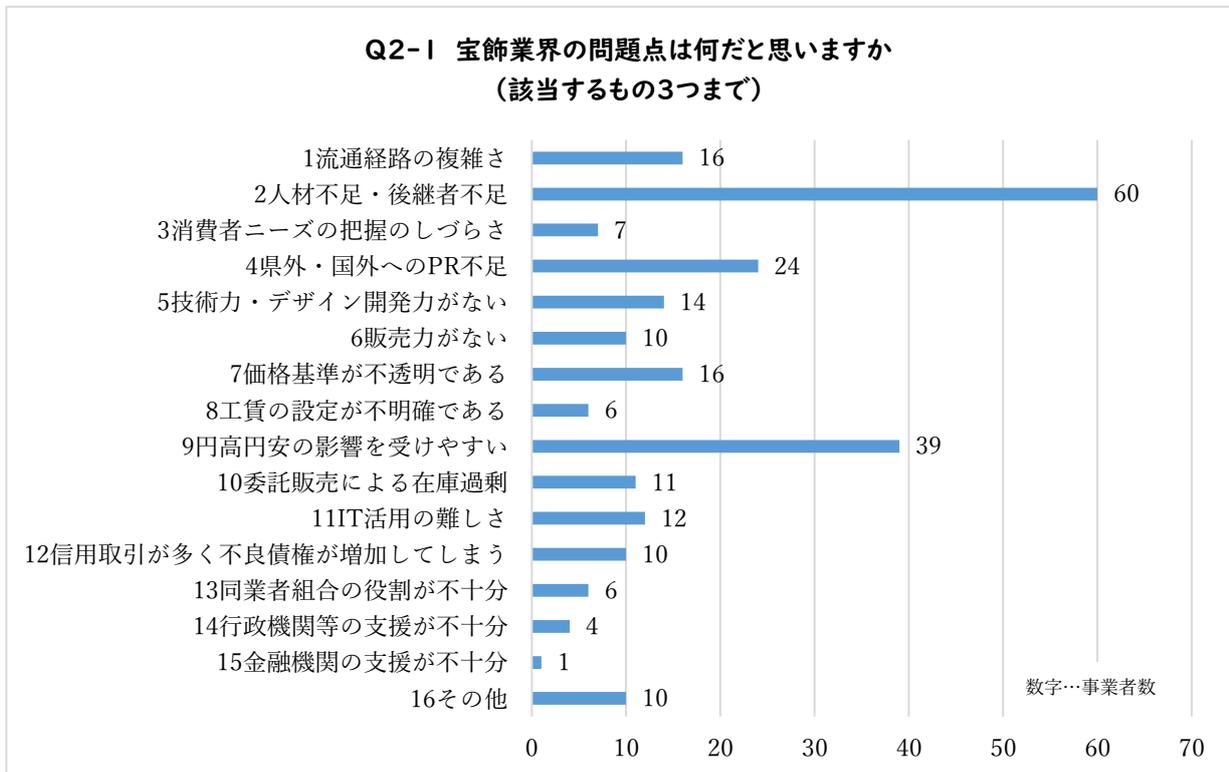
Q1-8 貴社の強みは何ですか
(該当するもの5つまで)



Q1-8 23 その他
信用度



Q1-9 23 その他
SNS 活用



Q2-1 13 同業者組合の役割が不十分

- ・山梨ジュエリーフェアは協会ですべき 他、意見あり

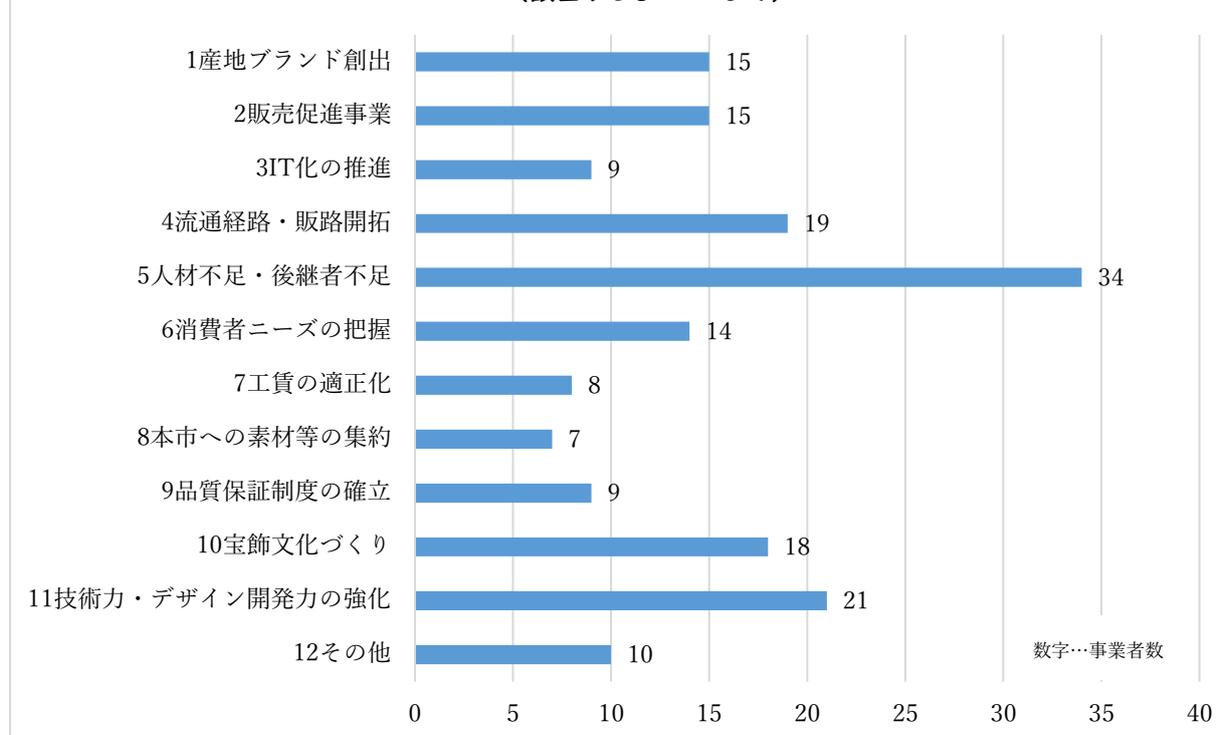
Q2-1 14 行政機関等の支援が不十分

- ・甲府市「宝石のまち甲府」のブランド化
- ・支援が無意味に実行されている。
- ・短期的な支援が多く、継続的な支援や共同で運営する中長期の事業が必要であると思う。また、もっと具体的かつ大きな目標を掲げ業界全体で向かうことが必要であると思う。 他、意見あり

Q2-1 16 その他

- ・資金が必要な業界。不渡り手形や倒産などで、回収が出来なくなる事態が頻繁にあるなど安定性に欠ける業界であったが、インターネットや SNS などの登場で様変わりしつつあるので、新たな資金面での支援が必要
- ・近年目立つのは、低価格低品質な品物へ無理に付加価値をつけて売り込む個人や法人が目立つ。一見これらのやり方は成功しているように見えるが、新規の客層(20代から30代の若年層)を本質的に取り込めているか疑問がある。結果的に若い客層が育っていないのではないか。
- ・コロナ禍から特に顕著になってきているが、中古品買取業者の査定価格が適正とは言えず、貴金属宝飾品を資産として購入する層が高級時計や美術品に流れてしまっている。業界として、中古品買取や買取業者を脅威として捉えるべきだ。競合しているモノは高級時計や美術品という状況を打開する必要がある。
- ・付加価値を上げる活動に対するの優遇・支援・認知と評価が不十分。製造会社数に比べ、県内に小売り店舗が少ない。その為、観光客等に宝飾産業と言う印象が残らない。
- ・宝石に対する必要性が以前より減っている。宝石を好きになる機会、憧れる機会がない。
- ・会計及び税務処理の難しさ
- ・国内客層の高齢化
- ・原材料価格の高騰、不安定さ

Q2-2 宝飾業界は何に取り組んだらよいと思いますか
(該当するもの2つまで)

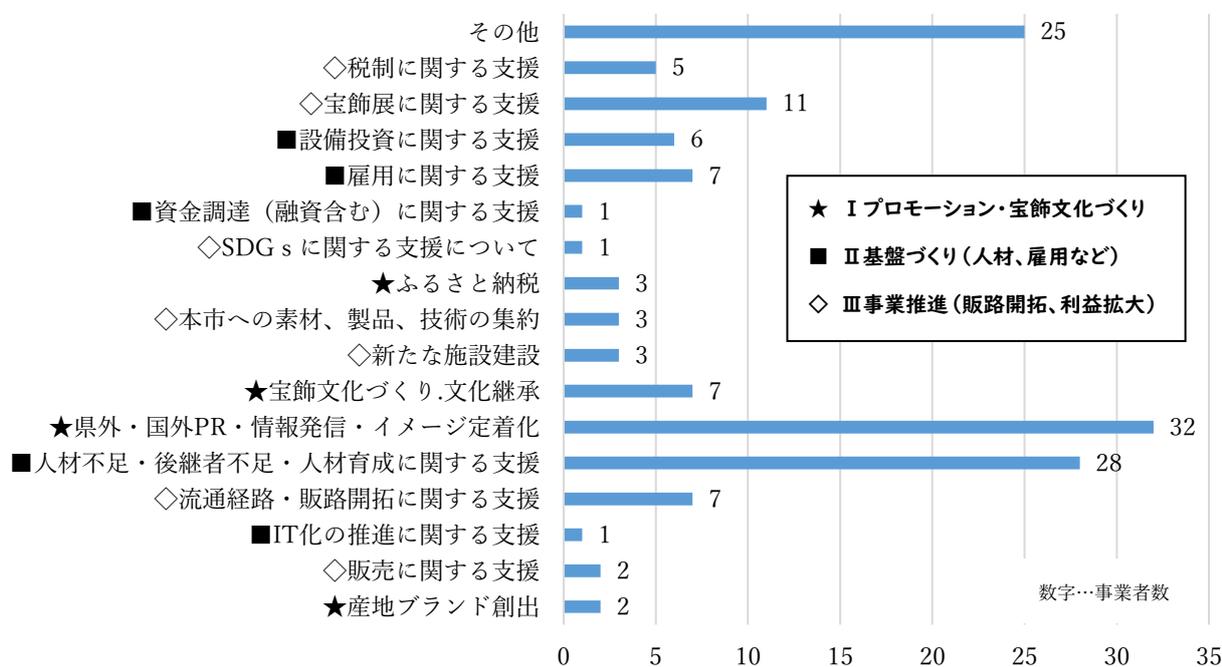


Q2-2 12 その他

- ・生産から小売までの一貫した業務能力
- ・宝飾品業界への信用
- ・「宝石まち甲府」のブランド化
- ・消費ニーズの喚起
- ・海外からの人材の呼び込みや、宝飾づくりを業としたい学生や社会人向けに専門的な教育を施すことができる4年生学校の増設に取り組むべきと考える。当該専門学校生には、宝飾業界の職業に就くことを条件として、学費の減免をはじめ、手厚い補償も備えることとし、入学者ひいては卒業後の宝飾業界従事者（潜在的な希望者を含む）を増加させてほしい。
- ・人手不足は日本の問題で、行政が何とか出来る問題ではない。それを補う積極的な設備投資の促進

Q3-1,3-2 市に期待する支援等について（自由回答）

※各々の回答は、以下の項目へ大別



Q3-1 市は宝飾業界発展のために、何に取り組んだらよいと思いますか

- ・リアルな宝石・宝飾品市場の開設とバーチャルの連携で産地ブランドを確立すること
- ・甲府市内での宝飾イベントの県外への広報
- ・海外宝飾展のブース確保
- ・学校強化（高校生等選択教科等作れるように話掛け等）
- ・後継者育成、産地PRの拡大
- ・ジュエリーフェアにのみ協力して頂きたい。
- ・芸術性・文化性をより高める事が必要かと思えます。
- ・後継者育成
- ・県外・海外へのPR
- ・受け皿の開設
- ・市内の宝飾業界に関わっている法人・個人の業種別リスト作りと業務内容をまとめ検索できるようにする。
- ・宝飾相談窓口的なコンシェルジュサービスの開設
- ・いろいろと施策を考えてくださり、いつもありがとうございます。
- ・会社によって規模や方針、事業内容、販売ターゲット、商品の方向性などが違うため大変ご苦労されていることと思えます。

- ・甲府市は宝石の街というアピールは出来ても、流通システムが変わらない限り、甲府にきた観光客が立ち寄れる小売店を増やすことが難しい。ここに尽きるのではないのでしょうか。。
- ・若手職人の人材育成
- ・集積産地としての国内外への発信、周知
- ・市内中心部の土地の所有者が県外の人々に変わっている。彼らは、甲府市はこれから発展する要素が多いという。リニア、中部横断道、新小仏トンネルなどでアクセスはよくなる。高額所得者が住みたくなる教育施設や医療施設が不可欠だとも言う。
- ・流山市のように若い世代が住む街になると良い。「宝石のまち甲府」の評価が宝飾産業の発展に追い風になる。
- ・世界的なジュエリー産地という事を日本の中でも知らない人が多い。それを逆手にとって上手くアピールすれば良いのではないのでしょうか？日本国内でもジュエリー産地は少ないので(競争相手がいないので)上手くアピール出来れば面白いと思います。
- ・宝飾業を文化として残すこと
- ・ジュエリー協会と共に YJF・ジュエリーウィークを主催者として取り組んでもらいたい。
- ・価格ではなく価値で世に問うブランド化
- ・県、国と連携して宝飾市場の経済特区の創設
- ・YJF の共催(イベントの集約)
- ・保税システムの確立(素材の集約)
- ・トレードセンターの設置(事業者の集約)
- ・ジュエリーマップやツーリズムなどの呼び込みや宣伝はありがたく感じます。
- ・甲府市が宝飾日本一であり続けるためには若い人材を業界に増やすことだと思います。
- ・イベントやブランドなどで業界全体を PR する。
- ・宝飾業界に携わる人材の育成、促進
- ・甲府の宝飾のイメージを定着化させる(イメージが散漫になっている印象があります)。
- ・知識と技術を継承し、新たな人材を育成するための働きかけ
- ・円高になっても売れる商品づくり
- ・山梨県も含む、国際展示会が開催できる展示会場の建設。そこまでのアクセスの整備並びに宿泊施設の充実等
- ・トレードセンターの設置。小さい企業がデザイン及び技術力が向上できるよう設備・機械などの支援体制
- ・甲府市ふるさと納税返礼品ジュエリーの情報発信を増やす。
(インターネットポータルサイト、専門ウェブサイト・ブログ・SNS (Instagram など)、オンラインフォーラム、専門誌・雑誌、ラジオ番組、テレビ番組、イベント・セミナー)
- ・小さい頃(小学生や中学生くらい)から職場見学や学校を訪れての講演会などを通じて、山梨の地場産業であるジュエリーについて知ってもらう機会を増やす。
- ・地場産業としての甲府ジュエリー認知度向上、プロモーション。ジュエリーに係るSDGs活動の推進と、その周知。
- ・インバウンド誘致施策の拡大
- ・国内外にアピールをしていただいているので、引き続き、アピール等を強化して行っていただきたい。
- ・たとえば、ふるさと納税の返礼品ジュエリーが 60%以上ですので、この機会に市と業界が一体となって、もっともっと国内・外に宝石のまち甲府を PR して頂きたいと思います。
- ・甲府ジュエリーマップの活用(店舗紹介、スタンプラリーなど)。甲府駅南口にあるモニュメントの活用(QR コードによる店舗紹介など)、身近な宝石のママ知識など
- ・行政民間の垣根を越え、宝飾産業の歴史や業界が行ってきた多くの活動を振り返り、産業を継続、発展させるために甲府の地域づくりを行っていくようになったら良いと思います。
- ・市だけの取り組みではありませんが、ヨーロッパ中心の海外視察、海外交流、友好関係都市、友好スクール、友好組合等、本来のジュエリーに対する情報不足を補い、本来のジュエリーの在り方を考える気づきを与える場所と、具体支援するための組織の発足など
- ・地場産業である宝石研磨、穴開け職人、量産加工ができる職人が高齢化により激減していて深刻である。石の研磨や穴開け職人の若手育成。
- ・個々事業者の努力が必要であり、それはどの業界でも然り。淘汰されることは当然であり、血税をむやみに投入することに疑問を感じます。
- ・ふるさと納税でお世話になっております。順調に伸びて行ければ。
- ・甲府(山梨県)のイメージ作り
- ・職人さんやこの業界に携わる人の育成
- ・人材不足が深刻化しているので広く、若手、女性、外国人に向けてジュエリー業界の認知や就職マッチングやインターンシップなどのサポート

Q3-2 市に対して、期待する支援策は何ですか

- ・リアルな宝石・宝飾品市場の開設とバーチャルの連携で産地ブランドを確立すること
- ・ハードの支援、廃校のリノベーションなど
- ・広く薄い企業援助は止めて欲しい。淘汰されるべき企業が価格競争に走り、業界にとって害をなす。
もし企業補助を出すなら広く薄い企業補助ではなく、数を5社程度に絞り将来性のある優れた企業のみに大きな補助を与える施策が有効。なぜなら、今までも先を走る企業の真似をして後進企業が育ってきた。与えるべき援助は後進企業にではなく、新しい取り組みなどを行なっている先進企業に与えるべき。淘汰されるべき企業を助けるのは業界に対して害悪以外何者でもない。
- ・アクセサリーではなく、宝飾品を身につける文化を若年層にも訴求し、着飾るという文化を広める施策を考えて欲しい。芸能人を起用してPRをするのではなく、ワインの文化と絡めるなどして、あらゆる日常の中にも宝飾品はあるべきだと広めてほしい。
- ・人材確保
- ・甲府市内での宝飾イベントの県外へのPR
- ・海外宝飾展参加補助金
- ・国内外へ宝飾産地をアピールする為の補助金等の拡充。展示会出展やSNS情報発信等の推進。職人や宝飾品の生産へ関わる方たちへの補助や促進は急務(人の衰退危機)。生産者がいなければ、産地にはなりえない。
- ・各イベント等の援助、補助、県外等へのアピール
- ・伝産文化の保存と発展、宝石のまち甲府のテーマの下、作り手、職人が減少している。
作り手の雇用等にも農業政策同様視野に入れて頂きたい。
- ・設備設置等に対する補助金
- ・補助金
- ・ジュエリー産地、地場産業としての県外、国外へのPR。販路拡大、業態変化、広報等への助成。
- ・人材の教育
- ・海外の取引先紹介等
- ・ジュエリーファンを創出するための取り組みに力を入れて進めて欲しい。
- ・県外の展示会へのより多くの支援
- ・後継者の育成
- ・融資の緩和と拡大。誰彼構わず融資するのはだめだとおもうが、今後の見込みのある事業所には柔軟に対応してほしい。
- ・海外市場への進出に対する支援、観光産業との連携、税制優遇措置
- ・市に期待するより自助努力が不可欠。
- ・付加価値への優遇・支援・認知・協力
- ・実際にジュエリーを作っている工場が、表に出る機会がないので工場だけの展示会などがあればいいと思います。
- ・中長期的な技術者養成と雇用の確保支援
- ・効果的なメディア、SNSによる産地アピール
- ・円滑な零細企業に補助金等の支援をお願いしたい。
- ・甲府市が貴金属宝飾産業の地であることを全国的に広めてほしい。
- ・ジュエリー文化の知名度を高める対策に期待しています。
- ・甲府ジュエリーラブプロジェクトを通し世の中に宝石である甲府のことをアピールできることに期待しています!
- ・県を含めたジュエリー産地のPR
- ・情報提供や補助金制度など
- ・国内外からお客様を呼び、展示会を主催してほしい。また国外への展示会への出展への支援
- ・以前もお伝えしたことがあるのですが、弊社に関していえば、すでに稼働しなくなった研磨の機械の数々を、県や市で歴史的な参考資料として保存して、ジュエリーミュージアムとか人の目につくところに展示などしていただけないかと。工場で朽ち果てるだけでは勿体ない、といつも思いながら月日が経ってしまいました…。
- ・税制面での負担減。
- ・消費者がジュエリーを欲しくなるような宣伝、PR
世界的なジュエリー産地なのですが、スポットが当たるのはどうも市内でも大きい会社の様ですが、自動車産業然り。下支えているのは本当の職人さんたちの様な気がします。職人達にこそスポットが当たる様な支援策があると良いと思います。憧れる若い人達が増えれば外国人労働者に頼らない業界になっていく様な気がします。
- ・人材育成の支援
- ・各企業をマッチングさせる。
- ・ジュエリー課の設立
- ・海外展示会への協力。少なくとも30社くらいのブース代を全額負担するくらいのことをしてしかなるべき。

- ・新卒及び中途採用社員に対する雇用助成を考えて欲しい。
- ・宝飾業界を支える県内の職人が働きやすく、また若い人も山梨県で働きたいと思えるような環境づくり、後継者支援を考えてほしいと思いました。
- ・税金を法人、個人共に少なくして欲しいです。
- ・県外、海外へのPRや販路拡大に対する支援策
- ・宝石をつける機会の創出
- ・職人が後継者を育成できる支援。育成できる場所や資金の支援。ジュエリー産地甲府のPR
- ・これ以上望むものもない。我々宝飾業界が主体となることに意味がある。
- ・宝石のまち甲府をもっとブランドにしてPRして欲しい。
- ・業界に携わる若者への支援、補助
- ・市場・販路開拓・拡大に向けて展示会出展のバックアップ(出展費用だけでなく、会場の提供など)
- ・人材育成
- ・設備投資の助成、ふるさと納税の支援(ふるさと納税での甲府ブランドの認定証などの発行など)
- ・甲府市の宝飾産業の商品のアピール等。公の機関としての品質保証制度の確立
- ・ふるさと納税ジュエリーの広報、ジュエリー協会への更なる支援
- ・商品をインターネット販売する際にコストとしてかかる各種経費の補助(販路拡大のため)。
- ・外国人材を含めた宝飾業界経験者につき、山梨県への移住支援策の強化(金銭や、公営住宅を貸し出すなど)。
- ・各ジュエリー会社とニーズが合う顧客同士のマッチング支援。
- ・そもそも若者が一つの企業に長く就労するという意識が少なく、仕事のやりがいがいだけで引き止めることが難しいため金銭面でフォローするしかないが、企業側にも限界があるので、甲府の企業あるいは独立して甲府を基盤に業界に従事する職人に手当が出るとよい。また県外から宝飾事業に転職し移住する人に対する支援をするといった人材不足解消と定着に向けた支援。あとは行政に言うことではないかもしれないが、小売に近いポジションの企業が利益を稼ぐ構図から、製造に携わる企業や職人にしっかりと利益が落ちて、魅力ある仕事であると言うビジョンを見せられないと後継者育成は困難だと思うので、組合や県と連携し、県内業者の意識を変えて欲しい(いくら補助金や助成金を出してもらっても職人の工賃を買い叩いて、売る人だけが儲かる構図では地場産業の根幹である職人の育成は達成されない)。
- ・後継者育成
- ・国内外にアピールを頻繁に行ってもらえているので、補助金など支援策があると助かります。
- ・集積産地として、若手の職人さんの育成・奨励金など支援
ジュエリーウィークなど、イベントの全面支援、そこから甲府市に経済効果が生まれると思います。
- ・宝石の美しさや魅力など、普段目にすることのない貴重なものの紹介をまとめたもの(誕生石以外のもの)。ITを活かしたHP作成(〇〇石は、〇〇会社は得意とする商品)など、会社の支援となるもの
- ・国内外への販路拡大への支援、補助金支援
- ・後継者育成、一般客を誘致し、地場産業として知名度を上げながら、地域に経済効果をもたらす支援に期待いたします。
- ・職人の人材育成、後継者不足問題等の補助、支援策をお願いいたします。
- ・研磨職人、新規に始める人への機械、設備などへの助成金があると、職人が増え甲府の認知度が上がり、仕上がりの精度が上がるなど、海外に注文しなくても国内で安定して量産対応もできるようになると考える。
- ・地場産業としての発展
- ・技術者の育成サポート
- ・最新機種等、設備更新への支援
- ・4月の山梨ジュエリーフェアの展示会の主催者になり、より大きい規模で開催する事
- ・宝石学校卒などの若手の職人さんを雇う企業への給与への支援。ジュエリー業界の女性活躍推進支援。今後もっと多くの女性たちにジュエリー業界に入って活躍してもらうために、ジュエリー業界に限らず子育て支援セミナーなどのキャリア形成講座など女性に特化した支援策

Q3-3 その他

- ・そもそも、私企業が公の援助を望むこと自体がおかしなこと。市や県ができることは限られている。
- ・このように各社のご意見聞いていただき、ありがとうございます。
- ・県の方に弊社の工場(ほぼ廃墟ですが)を見に来ていただき、全盛期の甲府の研磨の工場がどんなものだったのか、一度みていただくと面白いと思います。
- ・行政に頼ることを前提とした業界の姿勢を改めた方がいい。その姿勢があるかぎり発展は望めないのではないかと。
- ・特定の業界や団体、企業を支援するのは立場上難しいとは思いますが、行政にとっても利のあるところには積極的に支援していただけるとありがたい。ふるさと納税において、甲府市のジュエリーが非常に重要なものになっている

と思いますが、その反面、参画事業者が乱立して、品質を落とすなど、そもそも参画資格を満たしていないような事業者も見受けられるので、この先も返礼品として確たるポジションを抑えるために精査をしていただきたい。

- ・次の世代の若者たちが、憧れる職業になってほしい。そして誇れる職業に？
- ・各企業が自立しなければならないということを自覚することが必要
- ・何をしても売れた、売れないなど、販売の話ばかりが中心と感じます。
本来のジュエリーの情報を収集できる対策がないと本当のジュエリーシーンは盛り上がらないと感じます。特に海外(欧米のハイジュエリーなど)とのジュエリーに対するギャップが激しいと感じます。
- ・いつもありがとうございます。個々事業者の努力が必要であり、それはどの業界でも然りである。
- ・何を企画実行するにしても各社の足並みが揃わないことがこの閉塞感を生んでいる気がする。零細企業の集合体なので、当然仕方ない部分はあるが、各社世代交代も進んでいるし、市がリーダーになり引っ張っていけばいい方向へ進むかも。
- ・ジュエリーマップは今のところ効果が見られない。実施するなら予算を大きくとって焦点を絞って効果がでるようにしていただきたい。フィードバックが全くされていないところが問題点。

第3章 プランの方向性

「甲府市新たな産業施策の構築に向けた調査・分析等業務」報告書や「事業者アンケート」の集計結果を踏まえ、「甲府市宝飾業振興戦略検討チーム」において、宝飾産業が直面する課題を整理した。これらの課題に対応し、さらなる宝飾産業の振興を図るため、目指すべき姿を「甲府市が100年先も宝飾の集積産地であり続ける」と定め、今後の取り組みの方向性として、「Ⅰ プロモーション・宝飾文化づくり」、「Ⅱ 基盤づくり(人材育成・雇用など)」、「Ⅲ 事業推進(販路開拓・利益拡大)」の3つの柱に沿って施策を推進していく。

♡甲府市が100年先も宝飾の集積産地であり続ける♡

※宝飾の集積産地：甲府市は、宝石の研磨加工や貴金属製品加工、国内外への流通など、宝飾に関するあらゆる業務が集積されています

I 課題とこれまでの取り組み

I プロモーション・宝飾文化づくり

現在の課題

- ・「宝石のまち甲府」の認知度の低さ
- ・宝飾産地としてのPR不足
- ・人口減少、婚姻数の減少によるジュエリー着用者の減少
- ・若者のジュエリー離れ
- ・甲府のジュエリーとしての定義や認証制度がない

これまでの取り組み

- ・マイナビ協定による情報発信
- ・甲府ジュエリーラブプロジェクト
- ・東京ガールズコレクション
- ・こうふジュエリーマップ
- ・甲府ジュエリー×TGCプロジェクト
- ・甲府ジュエリーインフルエンサー制度
- ・「森の宝石ラトル」の配布
- ・甲府市産業支援サイト
- ・甲府ブランド認定制度
- ・ふるさと応援寄付金
- ・広報誌特集
- ・甲府歴史講座

II 基盤づくり(人材、雇用など)

現在の課題

- ・宝石研磨、貴金属製品加工等の職人の仕事が減っており、若者の就職先の候補とならない
- ・国外の安価な加工費により、国内での加工が減っている
- ・工賃が安い
- ・女性、若者を受け入れる体制(労働環境)が整っておらず早期の退職の原因となっている

これまでの取り組み

- ・宝石のまち甲府ジュエリー甲子園
- ・水晶・ルチル合成体験
- ・宝石研磨体験教室
- ・甲府市中小企業振興融資制度
- ・中心市街地空き店舗活用事業補助金
- ・甲府市中小企業者等IT関連研修受講補助金

III 事業推進(販路開拓、利益拡大)

現在の課題

- ・OEMによる工賃の低下
- ・宝飾に関する相談窓口機能の不足
- ・事業者同士のマッチング機会の不足
- ・宝飾品が観光の目的や選択肢とならない
- ・関税・円高円安の影響を受けやすい
- ・宝飾産業におけるSDGsの推進

これまでの取り組み

- ・MOU締結
- ・こうふはっこうマルシェ
- ・ソライチWith
- ・甲府ジュエリー産地ツアー
- ・地場産品日帰りツアー
- ・宝飾産業振興事業補助金
- ・山梨ジュエリープロジェクト支援事業補助金
- ・水晶彫刻新作展補助金
- ・ジュエリー産地基盤強化事業補助金
- ・販路開拓支援事業補助金
- ・甲府市SDGs推進パートナー登録制度

これまでの取り組み(令和6年度末現在)

1 甲府市と株式会社マイナビとの連携による情報発信(令和5年度～)

甲府市と株式会社マイナビとの連携に関する業務協定(令和5年6月)の締結による、マイナビメディア(マイナビ子育て、マイナビウェディング)及びInstagramを活用した「宝石のまち甲府」のPRに関する情報発信。

2 甲府ジュエリーラブプロジェクト(令和5年度～)

甲府市が令和5年9月に発表した、ライフスタイルの節目で3つの愛をテーマとした「ベビージュエリー」、「プロポーズジュエリー」、「ヘリテージジュエリー」を贈る、新たなジュエリー文化の提案であり、「宝石のまち甲府」をPRするプロジェクト。

3 東京ガールズコレクションにおける「宝石のまち甲府」のPR(令和4年度～)

「東京ガールズコレクション」は、10代後半から20代の女性を中心に人気を博している日本最大級のファッションイベントであり、ステージでは多くの人気モデルや俳優等が出演し、ステージの様子は、SNS やテレビ、スポーツ紙など、多くのメディアに取り上げられる。本市においては、令和4年度から本イベントに「パートナー」として参加し、「宝石のまち甲府ステージ」においては、「甲府ジュエリーラブプロジェクト」などをPRしている。

4 甲府ジュエリー×TGC プロジェクト(令和6年度)

SNS 総フォロワー490万人超えのインフルエンサー「MINAMI」を「甲府ジュエリー×TGC プロジェクトアンバサダー」に迎え、山梨県立宝石美術専門学校の学生との東京ガールズコレクションのステージプロデュースや「やまなし JEWELRY WEEK」における「MINAMI」のステージ、気軽に宝石に触れることができる体験ブースなど、特に若い世代に対して「宝石のまち甲府」のPRに繋げることを目的とするプロジェクト。

5 宝石のまち甲府 ジュエリー甲子園(令和6年度)

県内高校生を対象としたジュエリーデザインコンテスト。若い世代に対して「宝石のまち甲府」の認知度向上を図り、シビックプライドの醸成に繋げるとともに、若い創造力や才能を伸ばし、宝飾産業の次なる担い手となる人材育成を図ることで、宝飾産業の更なる活性化を期待するものである。

6 こうふジュエリーマップ(令和3年度～)

一般消費者や観光客に対して、宝石(ルース)の購入やオリジナルジュエリーの製作、リフォーム、工房体験など、集積産地ならではの情報をまとめたマップ。掲載事業者、関係機関や甲府市観光案内所などへの設置、甲府市観光協会 HP、マイナビ子育てサイトへ掲載している。

7 甲府ジュエリー産地ツアー(令和4年度～)

県外の若手デザイナーやクリエイターが市内のジュエリー工房等を見学し、職人と交流するなかで、販路拡大を目的としたビジネスマッチングの機会を創出するツアー。本市のジュエリー職人の技術力の高さを知ってもらうことで、マッチング効果を高め、販路拡大やジュエリー産地甲府の PR に繋げ、宝飾産業のさらなる発展をめざすものである。

8 地場産品日帰りツアー(令和5年度～)

新宿発着の日帰りバスツアーで、ワインをはじめ、宝飾品や甲州印伝といった甲府の地場産業の魅力に触れてもらい、地場産品を求めて、再度、山梨・甲府を訪れてもらえるよう、ツアーの主軸は地場産品に触れることを目的としている。

9 水晶・ルチル合成体験(令和5年度～)

山梨大学クリスタル科学研究センターにおいて、子どもから大人までを対象とした、水晶に関する講義、人工水晶やルチルの合成体験を行い、「宝石のまち甲府」の魅力を PR している。

10 こうふはっこうマルシェ(平成29年度～)

ワイン等の発酵食品を中心に地場産業の魅力を発信する発酵食品イベントと、ジュエリー出荷額トップクラスを誇る「宝石のまち」を印象付けるジュエリー・クラフト市を同時開催することにより、地域ブランド力の向上や交流人口の増加を図っている。

11 甲府ブランド認定制度(平成25年度～)

地域資源等や技術、「甲府らしさ」を有する魅力ある商品を甲府ブランド「甲府之証」として認定し PR するとともに、甲府市の知名度の向上を図る。食品部門とクラフト系部門があり、クラフト系部門では、ジュエリーが2件認定されている。

12 ソライチ With(令和5年度～)

甲府駅ペDESTリアンデッキ等で開催されているイベント、甲府空中市(ソライチ)において、本市主催枠(ソライチ With 枠)を設け、地場産品を扱う事業者のほか、店舗を持たない方や創業間もない方の出店により、地場産品の認知度向上や活性化に繋げることを目的として実施している。

13 タイ王国商務省国際貿易振興局(DITP)と甲府市との MOU 締結(令和3年度～)

「タイ王国商務省国際貿易振興局(DITP)と日本国山梨県甲府市とのジュエリー産業におけるパートナーシップに関する覚書」の締結による、タイ王国と甲府市の宝飾産業に関する相互の中小企業間等の連携における協力体制のこと。

14 甲府市産業支援サイト

中小企業等の振興や広報活動の充実等を目的として、本市中小企業の持つ魅力や地場産品等のPR、雇用の創出や創業に向けた情報を発信するウェブサイト。

15 ふるさと応援寄付金(ふるさと納税制度)

生まれた故郷やお世話になった地域、これから応援したい自治体に対して、用途を選択し、所在地の納税額の一部を寄付する制度。本市では、「山 持続可能なまちづくりのために」を選択すると、産業や観光の振興などの財源へ充てられる。

16 甲府ジュエリーカタログ

ジュエリーを返礼品に選んでいただいた寄付者に対し、甲府ジュエリーの歴史や文化、おススメのジュエリーなどを掲載したカタログを送付している。甲府ジュエリーの魅力を伝え、誘客を促すことに加え、リピーターの獲得につなげている。

17 甲府市中小企業振興融資制度

経営基盤の不安定な小規模企業者の負担軽減を図るため、利子補給及び信用保証料の補助を行う制度。

18 甲府市中小企業等 IT 関連研修受講補助金

ポリテクセンター山梨が実施する IT を活用した業務改善研修(訓練)のうち、甲府市が指定した研修や講座の受講料の一部を補助する制度。

19 甲府市中心市街地空き店舗活用事業補助金

甲府市の中心市街地内の空き店舗の解消を図り、商店街の活性化や地域の密着した街づくりを目的として、店舗の内装・設備工事費及び家賃の一部を助成する制度。ジュエリー・クラフト関係の商品を製造・販売する場合は、補助金額の上限や利率に優遇がある。

20 宝飾産業振興事業補助金

宝飾産業振興を目的として、団体に対して交付する補助金。

21 山梨ジュエリープロジェクト支援事業補助金

「やまなし JEWELRY WEEK」の開催や地域ブランドの販売促進について、団体に対して交付する補助金。

22 水晶彫刻新作展補助金

水晶彫刻新作展の開催について、団体に対して交付する補助金。

23 ジュエリー産地基盤強化事業補助金

「山梨ジュエリーフェア」の開催について、団体に対して交付する補助金。

24 甲府市地場産業販路開拓支援事業補助金

本市の地場産品の新たな販路開拓を促進し、産業の振興を図るため、団体に対して交付する補助金。

25 甲府市 SDGs推進パートナー登録制度

市内の SDGsの達成に向けて取り組む企業や団体等を「甲府市 SDGs推進パートナー」として登録し、「見える化」することにより、SDGsの普及や SDGsに取り組む企業・団体等の裾野を拡大し、本市における SDGs達成に向けた取り組みを推進することを目的とした制度。

26 「宝石のまち甲府」甲府ジュエリーインフルエンサー制度（令和5年度～）

ふるさと納税制度を利用し、甲府市のジュエリーを返礼品として選んでいただいた寄附者の中から、「宝石のまち甲府」について、SNS を活用し広く発信していただける方を、「甲府ジュエリーインフルエンサー」として認定する制度。

27 まちなか創造(アート)ワークショップ(令和6年度)

中心市街地オリオン通り周辺の賑わいの創出を目的に、参加者全員で大きなキャンバスに「宝石のまち甲府」をテーマに絵を描くワークショップを開催した。

28 お子さんへ「森の宝石ラトル」を配布(令和6年度~)

お子さんが木に触れ、豊かな心を育むなかで、「自然豊かなまち」、「宝石のまち」に親しみを感じていただく機会として、山梨県産のクリの木を使用して製作した宝石リングをイメージしたおもちゃを、出生届提出窓口で贈呈している。

29 宝石研磨体験教室

宝飾産業の加工技術である宝石研磨を親子で体験できる教室を開催している。

30 経営者セミナー

経営者・後継者育成に係るセミナーや男女ともに働きやすい職場にするためのセミナーを開催している。

31 甲府歴史講座

「宝石のまち甲府」の歴史、文化の情報発信事業として、甲府市文化財保存活用地域計画に基づき実施している。

第3章 プランの方向性

II これからの取り組みイメージ(案)

◇甲府市が100年先も 宝飾の集積地であり続ける◇

- ・マイナビ協定による情報発信
- ・甲府ジュエリーラブプロジェクト
- ・東京ガールズコレクション
- ・こうふジュエリーマップ
- ・甲府ジュエリー×TGCプロジェクト
- ・甲府ジュエリーインフルエンサー制度
- ・「森の宝石ラトル」の配布
- ・甲府市産業支援サイト
- ・甲府ブランド認定制度「甲府之証」
- ・ふるさと応援寄付金
- ・広報誌特集
- ・甲府歴史講座

世界に知られる

「甲府ジュエリー」へ

I プロモーション・ 宝飾文化づくり

情報発信のさらなる強化

- ・職員のジュエリー着用企画の実施
- ・マイナビとの連携による情報発信
- ・甲府ジュエリーラブプロジェクトによるジュエリー文化定着に向けた情報発信
- ・ジュエリースタート事業の実施
- ・「甲府ジュエリー」のブランディング

歴史をつなぎ、人を育てる宝飾産業へ

II 基盤づくり

(人材、雇用など)

- ・「宝石のまち甲府ジュエリー甲子園」の規模拡大
- ・最優秀賞デザイン画実作品の「甲府之証」への認定
- ・職場体験学習プログラムの実施
- ・経営者セミナーの実施
(人材育成・雇用・女性活躍・SDGs)

- ・宝石のまち甲府 ジュエリー甲子園
- ・水晶・ルチル合成体験
- ・宝石研磨体験教室
- ・甲府市中小企業振興融資制度
- ・中心市街地空き店舗活用事業補助金
- ・甲府市中小企業者等 IT 関連研修受講補助金

- ・MOU 締結
- ・こうふはっこうマルシェ
- ・ソライチ With
- ・甲府ジュエリー産地ツアー
- ・地場産品日帰りツアー
- ・宝飾産業振興事業補助金
- ・山梨ジュエリープロジェクト支援事業補助金
- ・水晶彫刻新作展補助金
- ・ジュエリー産地基盤強化事業補助金
- ・販路開拓支援事業補助金
- ・甲府市 SDGs 推進パートナー登録制度

新たな価値を創り出し、世界へ

III 事業推進

(販路開拓、利益拡大)

- ・SDGsに関する取り組み
- ・コラボジュエリーなど、新たな価値づくり
- ・ツーリズム開発など、新たな魅力づくり
- ・こうふジュエリーマップのデジタル化

第4章 今後の施策

世界に知られる「甲府ジュエリー」へ

I プロモーション・宝飾文化づくり

情報発信のさらなる強化

1 職員のジュエリー着用企画の実施(令和6年度～**推進**)

市職員が執務中に、ジュエリーを積極的に着用することで、来庁者や県内外へ、市の地場産品を広くPRすることによって、「宝石のまち甲府」を周知し、地場産業振興を図る。

【甲府市】市職員のジュエリー着用推進・啓発、PR など

【事業者】執務中に着用できるジュエリーの提案など

令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)	令和10年度 (2028)
スタート	推進	推進	推進	推進

2 甲府市と株式会社マイナビとの連携による情報発信(令和7年度～**推進・拡大**)

令和5年度からスタートした、甲府市と株式会社マイナビとの連携による、マイナビWEB特設ページやInstagramを活用した、「宝石のまち甲府」や「甲府ジュエリーラブプロジェクト」のPRについては、参画料を有料として、参画事業者に限定したコンテンツなどを情報発信していたが、令和7年度からは、参画料を無料とし、「こうふジュエリーマップ」掲載事業者等の協力を得るなかで、「宝石のまち甲府」に関する幅広いコンテンツにより情報発信するなど、「甲府ジュエリー」の認知度向上を図る。

【甲府市】「宝石のまち甲府」「甲府ジュエリーラブプロジェクト」のPR、コンテンツ作成など

【事業者】コンテンツ作成にあたっての情報提供など

令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)	令和10年度 (2028)
令和5年度～ (有料)	拡大 (無料)	推進	推進	推進

3 ジュエリースタート事業の実施(令和7年度～**検討**)

甲府市で生まれたお子さんのご家族に、誕生記念として、お子さんの誕生石(ルース)を贈呈することで、家族が増えた喜びや親になった感動とともに、宝石やジュエリーに触れていただく機会を提供し、「宝石のまち甲府」の魅力を身近に感じていただく。また、「甲府ジュエリーラブプロジェクト」の「ベビージュエリー」の普及につなげるなかで、「宝石のまち甲府」の中長期的なブランディングをめざすものとする。さらに、贈呈した誕生石(ルース)については、お子さんやご家族のために、「ベビージュエリー」の形へ加工していただくなど、宝飾産業の振興へつなげる。

【甲府市】ルースケースの作成、出生届提出窓口でのジュエリーの贈呈、PR など
【事業者】ルースの調達に関する協力など

令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)	令和10年度 (2028)
	検討	スタート	推進	推進

4 「甲府ジュエリー」のブランディング(令和7年度～**検討**)

「甲府ジュエリー」の国内外への認知を拡大させるためには、地域ブランドとして、信頼性・知名度をベースに地域団体商標登録など、「甲府ジュエリー」と認証できる、明確な品質基準を設けることが必要である。「甲府ジュエリー」としての認証の仕組みづくり等については、宝飾業界関係団体が主体となって取り組めるよう連携を図り、将来的な「甲府ジュエリー」のブランディングに関する支援方法を検討し実施する。

【甲府市】「甲府ジュエリー」に関するPR など

【事業者】「甲府ジュエリー」に関する品質基準づくりなど

令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)	令和10年度 (2028)
	検討	検討・準備	スタート	推進

歴史をつなぎ、人を育てる宝飾産業へ

Ⅱ 基盤づくり(人材、雇用など)

1 「宝石のまち甲府ジュエリー甲子園」の規模拡大(令和6年度～**推進・拡大**)

令和6年度に、山梨県内の高校生を対象としたジュエリーデザインコンテストとして、「宝石のまち甲府ジュエリー甲子園 2024」を初開催したが、令和7年度からは、エントリー対象を県外の高校生へ拡大し、甲府市が「宝石のまち」であることを広くPRする。甲府の宝飾産業の技術力の高さや宝飾産業へ興味を持つ若者を増やすことをねらいとする。

【甲府市】「宝石のまち甲府ジュエリー甲子園」開催に関すること

【事業者】審査、賞品の提供、受賞デザインの実作品化に関すること

令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)	令和10年度 (2028)
スタート (山梨県内)	推進・拡大	推進	推進	推進

2 「宝石のまち甲府ジュエリー甲子園」の最優秀賞デザイン画を実作品化した商品を甲府ブランド認定制度「甲府之証」へ認定(令和7年度～**新規**)

「宝石のまち甲府ジュエリー甲子園」において、最優秀賞を受賞したデザイン画を実作品化した商品を「甲府らしさ」を有する地域資源を活用した魅力あるものとして、甲府ブランド認定制度「甲府之証」へ認定する。若い世代を中心に、「宝石のまち甲府」をPRするなかで、甲府の宝飾産業の技術力の高さやものづくりの楽しさを知ってもらう機会とする。また、受賞されたデザインが商品化され、「ふるさと納税返礼品」となることで、市外・県外の方に「宝石のまち甲府」を広く知っていただく機会とする。

【甲府市】「甲府之証」認定、ふるさと納税返礼品、PRに関すること

【事業者】受賞デザインの商品化、ふるさと納税返礼品化に関すること

令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)	令和10年度 (2028)
	スタート	推進	推進	推進

3 職場体験学習プログラムの実施(令和7年度～**新規**)

市内中学生を対象とした、夏休み期間中の職場体験学習の受け入れ先として、協力事業者を募り、希望する中学生が職業体験を行うことで、宝飾産業に興味を持ってもらう機会の創出や宝飾産業の担い手となる人材育成へとつなげるとともに、「宝石のまち甲府」の認知度向上を図る。

【甲府市】教育委員会等への連絡・調整など

【事業者】職場体験学習の受け入れ先の確保など

令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)	令和10年度 (2028)
検討・準備	スタート	推進	推進	推進

4 経営者セミナーの実施(令和7年度～**新規**)

働きやすい職場づくりや、職人や社員等の人材育成、雇用、女性活躍、SDGsなどへの取り組みとして、協同組合山梨県ジュエリー協会や甲府商工会議所水晶宝飾部会等と連携するなかでセミナーを実施することで、業界全体の意識統一や事業継続に関する課題解決につなげる。

【甲府市】経営者セミナーの実施

【事業者】セミナーへの参加

令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)	令和10年度 (2028)
	スタート	推進	推進	推進

新たな価値を創り出し、世界へ

Ⅲ 事業推進（販路開拓、利益拡大）

1 SDGsに関する取り組み（令和6年度～**推進**）

（こうふサステナブルジュエリー）

近年の海外を中心に進むサステナブル消費も踏まえるなかで、リサイクルメタルを活用した地金を、二酸化炭素を排出しない水素バーナーで加工し、装飾に宝石の端材等を用いた環境付加価値の高い「こうふサステナブルジュエリー」を、本市の新たな地場産品のひとつとして確立することで、環境に配慮したまちづくりの一層の推進を図るとともに、宝飾産業の「稼ぐ力」や「雇用力」の強化につなげる。

【甲府市】SDGsに関する取り組みの推進

【事業者】SDGsへの取り組みに関することなど

令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)	令和10年度 (2028)
スタート	推進	推進	推進	推進

2 コラボジュエリーなど、新たな価値づくり（令和7年度～**新規**）

特産品等を有する自治体や他業種との連携等により、新たなジュエリーの魅力を見出し、ジュエリーの付加価値を高めることをねらいとする。コラボジュエリーの製作のほか、マイナビメディアや東京ガールズコレクションのステージを活用するなど、コラボレーションの波及効果を上げるような情報発信を行う。

【甲府市】他自治体や異業種との連携に関すること、PR など

【事業者】製作や PR に関することなど

令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)	令和10年度 (2028)
	検討 スタート	推進	推進	推進

3 ツーリズム開発など、新たな魅力づくり(令和7年度～**検討**)

水晶産地としてのストーリーに触れることのできる、日本遺産である御嶽昇仙峡や、御嶽昇仙峡周辺やジュエリーミュージアムの工房体験、中心市街地や花小路(亀屋座)内のジュエリーショップ巡りなど、ジュエリーの魅力や甲府の地場産品を楽しむツアー実施に向けて、現在、市が実施している「日帰りバスツアー」の内容の見直しや、インバウンドに対応するツアー開催などについて検討する。

【甲府市】インバウンド等に対応したツアー内容作成・実施、PR など

【事業者】旅行客が体験できる工房やジュエリーを購入できるショップなど、訪問先としての提案

令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)	令和10年度 (2028)
	検討	スタート	継続	継続

4 こうふジュエリーマップのデジタル化(令和7年度～**検討**)

一般消費者や観光客が、宝石(ルース)の購入やオリジナルジュエリーの製作、リフォーム、工房体験など、集積産地ならではの情報を得やすく、さらに、事業者間のマッチングなど、販路拡大につなげるため、令和3年度から紙媒体で作成しているこうふジュエリーマップをデジタル化する。

【甲府市】こうふジュエリーマップのデジタル化に関すること

【事業者】こうふジュエリーマップに掲載する情報の提供

令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)	令和10年度 (2028)
	検討	スタート	継続	継続

【その他】

甲府市宝飾産業振興戦略検討チームミーティング内において取り上げられた案件については、引き続き、協議・検討を行う。

參考資料

甲府市産業ビジョン ～産業振興施策の基本方針～

特色ある地域産業の強化とブランディング

基本方針 A

方向性1 サービス産業の高度化

・ICT化等による生産性の向上と高付加価値化等

方向性2 甲府ブランド・地域資源の

価値創出と発信による観光の強化

・甲府のマチ、モノのブランディングの強化等

方向性3 地場産業の基盤強化と市場拡大

・宝飾産業や印伝など、地場産業の高付加価値化による市場の拡大等

方向性4 広域連携による移輸出拡大と

地域内循環の向上

・甲府都市圏の製造業や農業の強みを活かした広域連携による移輸出の拡大等

方向性5 立地優位性の活用

・未来産業を見据えた企業誘致の強化
・研究開発機能やバックアップ機能、サテライトオフィス機能など、本社機能の移転強化
・ノマドワークや週末農業など、二地域居住等の新たな都市ニーズへの対応強化

方向性6 産業拠点機能の強化

・リニア山梨県駅(仮称)周辺の産業支援機能の充実
・世界中からヒトやモノが集まる産業拠点への進化

方向性7 都市交流人口の獲得

・ビジネスイベントなどの誘致の強化
・インバウンドへの対応強化

方向性8 新産業の創出

・産学官連携によるインキュベーションやオープンイノベーションの取り組みの強化
・様々な分野における研究シーズやテクノロジーの産業への積極的活用

方向性9 産業人財の創出

・産学官連携による実効性の高い長期型キャリア教育や起業家教育を通じた産業人財の育成・確保
・若者、プロフェッショナル、女性、外国人など多様な人材の活用

拠点機能を活かした産業振興

基本方針 B

人的・知的資本の育成と活用

基本方針 C

連携による取り組みの方向性

【基本目標】稼ぐ力の向上

甲府市宝飾産業振興戦略検討チームミーティング

1 第1回

日時：令和6年5月10日(金) 午後4時～

場所：山梨県ジュエリー協会3階

内容：「甲府市新たな産業施策の構築に向けた調査・分析等業務」の報告
宝飾産業振興戦略検討チームミーティングのメンバー選定について

出席者：山梨県ジュエリー協会理事長、副理事長、事務局長

甲府商工会議所水晶宝飾部会部会長、副部会長、

甲府商工会議所専務理事、事務局次長、産業振興観光課長

有限責任あずさ監査法人

2 第2回

日時：令和6年5月30日(木) 午後1時30分～

場所：甲府商工会議所4階会議室

内容：宝飾産業振興戦略検討チームメンバー選定について

「甲府市新たな産業施策の構築に向けた調査・分析等業務」の報告
意見交換

出席者：宝飾産業振興戦略検討チームメンバー

有限責任あずさ監査法人

3 第3回

日時：令和6年7月12日(金) 午後1時30分～

場所：甲府商工会議所2階会議室

内容：事業者アンケート実施について、ジュエリー甲子園について、意見交換

出席者：宝飾産業振興戦略検討チームメンバー

4 第4回

日時：令和6年8月26日(月) 午前10時～

場所：甲府商工会議所4階会議室

内容：事業者アンケートの結果報告について、意見交換

出席者：宝飾産業振興戦略検討チームメンバー

5 第5回

日時：令和7年1月24日(金) 午前10時～

場所：甲府商工会議所2階会議室

内容：プランについて、意見交換

出席者：宝飾産業振興戦略検討チームメンバー

甲府市宝飾産業振興戦略検討チームメンバー

氏名	所属
委員長 後藤 晃一	有限会社 Glory Design 代表取締役
メンバー 上島 徹也	株式会社 IVX JAPAN 代表取締役
メンバー 大寄 智彦	貴石彫刻オオヨリ 代表
メンバー 近藤 直史	株式会社近藤宝飾 代表取締役社長
メンバー 清水 宏晃	株式会社清水 代表取締役
メンバー 志村 禎哉	株式会社英雅堂 専務取締役
メンバー 高井 雅史	Rinoc 代表
メンバー 長谷川 孝一	カラーズ 代表
メンバー 古屋 貴司	株式会社古屋 代表取締役
メンバー 松本 一雄	株式会社光新 代表取締役
メンバー 望月 圭	MZ&C 株式会社望月英之商会 代表取締役
メンバー 阿部 純	山梨県 産業政策部 産業振興課 主査
メンバー 恩田 はるみ	協同組合山梨県ジュエリー協会 事務局長
メンバー 鈴木 重正	甲府商工会議所 中小企業振興部 産業振興観光課 課長
事務局 角田 哲	甲府市 産業部 商工観光室 商工課 課長
事務局 土橋 理恵	甲府市 産業部 商工観光室 商工課 地場産業振興係 課長補佐
事務局 古屋 友也	甲府市 産業部 商工観光室 商工課 地場産業振興係 主任
事務局 清水 俊博	甲府市 産業部 商工観光室 商工課 地場産業振興係 主事

事業者アンケート

※FAX での回答は、お手数ですが、別紙 回答用紙へ記入し FAX で送信してください

★貴社についてお伺いします

Q 1-1 貴社の主な事業を教えてください (割合が大きいものから3つまで)

- 1 輸入業
- 2 輸出業
- 3 製造業
- 4 卸売業
- 5 小売業
- 6 貴金属加工業
- 7 宝石彫刻加工業
- 8 宝石研磨加工業
- 9 その他(自由記載) ()

Q 1-2 貴社が所属している団体を教えてください (複数回答可)

- 1 協同組合山梨県ジュエリー協会
- 2 山梨県水晶美術彫刻協同組合
- 3 甲府商工会議所
- 4 1~3以外の団体に属している
- 5 いずれにも属していない

Q 1-3 貴社の本市での事業継続年数は、何年ですか (回答はひとつ)

- 1 1年未満
- 2 1~3年未満
- 3 3~5年未満
- 4 5~10年未満
- 5 10~20年未満
- 6 20~30年未満
- 7 30~40年未満
- 8 40~50年未満
- 9 51年以上

Q 1-4 組織形態を教えてください (回答はひとつ)

- 1 法人
- 2 個人事業主

Q 1-5 従業員数を教えてください（回答はひとつ）※パート・アルバイト等を含む

- 1 0人
- 2 1~5人
- 3 6~10人
- 4 11~20人
- 5 21~50人
- 6 50人以上

Q1-6 経営者の年齢を教えてください（回答はひとつ）

- 1 20代以下
- 2 30代
- 3 40代
- 4 50代
- 5 60代
- 6 70代
- 7 80代以上

Q1-7 直前決算期の売上高について教えてください（回答はひとつ）

- 1 500万円未満
- 2 500~1000万円未満
- 3 1000~3000万円未満
- 4 3000~5000万円未満
- 5 5000万~1億円未満
- 6 1~3億円未満
- 7 3億円以上

Q1-8 貴社の強みは何ですか（該当するもの5つまで）

- 1 企業体制・経営戦略・企画力
- 2 輸出入に関するノウハウ
- 3 市場開拓・販路開拓
- 4 製造技術力
- 5 デザイン開発力
- 6 商品価値向上の取り組み
- 7 自社ブランド
- 8 品質の高さ
- 9 迅速さ・納期・スピード
- 10 価格競争力
- 11 顧客対応の良さ

- 12 消費者ニーズの把握
- 13 業務効率・作業効率
- 14 IT活用
- 15 知名度
- 16 情報収集・分析
- 17 事業の多角化
- 18 連携・ネットワーク
- 19 人材育成・後継者育成
- 20 人材の充足
- 21 地域貢献
- 22 SDGsへの強化
- 23 その他(自由記載) ()

Q1-9 貴社が今後、強化したいものや課題は何ですか(該当するもの5つまで)

- 1 企業体制・経営戦略・企画力
- 2 輸出入に関するノウハウ
- 3 市場開拓・販路開拓
- 4 製造技術力
- 5 デザイン開発力
- 6 商品価値向上の取り組み
- 7 自社ブランド
- 8 品質の高さ
- 9 迅速さ・納期・スピード
- 10 価格競争力
- 11 顧客対応の良さ
- 12 消費者ニーズの把握
- 13 業務効率・作業効率
- 14 IT活用
- 15 知名度
- 16 情報収集・分析
- 17 事業の多角化
- 18 連携・ネットワーク
- 19 人材育成・後継者育成
- 20 人材の充足
- 21 地域貢献
- 22 SDGsへの強化
- 23 その他(自由記載) ()

★宝飾業界についてお伺いします

Q2-1 宝飾業界の問題点は何だと思えますか(該当するもの3つまで)

- 1 流通経路の複雑さ
- 2 人材不足・後継者不足
- 3 消費者ニーズの把握のしづらさ
- 4 県外・国外へのPR不足
- 5 技術力・デザイン開発力がない
- 6 販売力がない
- 7 価格基準が不透明である
- 8 工賃の設定が不明確である
- 9 円高円安の影響を受けやすい
- 10 委託販売による在庫過剰
- 11 IT活用の難しさ
- 12 信用取引が多く不良債権が増加してしまう
- 13 同業者組合の役割が不十分
具体的に記載してください()
- 14 行政機関等の支援が不十分
行政機関等はどこを指すかも含めて具体的に記載してください
(山梨県・甲府市・甲府商工会議所・JETRO など)。
()
- 15 金融機関の支援が不十分
- 16 その他(自由記載) ()

Q2-2 宝飾業界は何に取り組んだらよいと思えますか(該当するもの2つまで)

- 1 産地ブランド創出
- 2 販売促進事業
- 3 IT化の推進
- 4 流通経路・販路開拓
- 5 人材不足・後継者不足
- 6 消費者ニーズの把握
- 7 工賃の適正化
- 8 本市への素材等の集約(トレードセンターの設置など)
- 9 品質保証制度の確立
- 10 宝飾文化づくり
- 11 技術力・デザイン開発力の強化
- 12 その他(自由記載) ()

★甲府市についてお伺いします

Q3-1 市は宝飾業界発展のために、何に取り組んだらよいと思いますか

自由記載

Q3-2 市に対して、期待する支援策は何ですか

自由記載

★その他 ご意見がありましたらご記入ください

自由記載

アンケートへのご協力ありがとうございました

甲府市宝飾産業振興戦略プラン



甲府市産業部